

令和2年度 行政評価の取組結果(技術監理局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業所 管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					R2年度		R1年度	人件費 (目安)	R2年度				R4年度予算要求に向けた 施策の方向性	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の 理由及び課題		
I-2-(3)-2 技術・技能を継承する人材の育成	1	⑧ ⑨ ⑪	明日の公共事業を支える人材確保・育成事業	技術企画課	建設業の若年就業者の減少により、インフラの維持管理に関する担い手不足が懸念されるなか、建設技術の魅力を発信し、公共事業への理解をより深めることで、将来にわたる建設業の人材確保・育成を図る。	建設業に対する関心度(イベント参加者アンケートによる)	97% (H27年度)	目標 80 %	実績 89 %	達成率 111.3 %	80%以上 (R1年度以降毎年度)	2,002	696	1,934	5,400	順調	新型コロナウイルス感染症の影響により、集客イベントが中止となり、参加者に対するアンケート調査が実施できなかったが、その代替として、特設のWebサイトで建設業を紹介する動画等によりPRを行った。また、建設業の現場で活躍する若者や女性の姿を紹介するWebサイトにおいても、新たな技術者を掲載するなど、建設業の魅力を継続して発信できたことから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 集客イベントは中止となったが、代替として、特設のWebサイトで建設業を紹介する動画を配信するなど、建設業の魅力を継続して発信できたことから「順調」と判断。  【課題】 将来にわたって建設業の人材確保・育成を行うには、一過性のもではなく、継続的で地道なイメージアップの取組が不可欠である。	建設業の魅力アップに向け、引き続き、建設業の魅力を伝える地道な広報活動が必要であり、令和4年度も継続して実施する。
III-3-(3)-3 企業の地域活動への参画促進	2	⑩	【施策評価のみ】競争入札参加資格業者に対する加点制度	契約制度課	【施策の内容】 本市の物品等供給契約や建設工事における競争入札参加資格において、地元企業の地域での社会貢献活動(子育て支援、男女共同参画、障害者雇用、環境配慮、防災活動など)を評価し、格付けの際に加点することにより、契約制度の面からも本市重要施策の推進を図る。	【施策の指標】 本市の物品等供給契約入札参加資格業者総数に対する評価対象事業者数の割合	27% (H28年度)	目標 前年度(29%)並み	実績 28 %	達成率 96.6 %	29 %	—	—	—	—	—	—	【評価理由】 目標値を上回る達成率となっており、「順調」と判断。	引き続き加点制度を実施する。	
					【施策の内容】 本市の建設工事入札参加資格業者総数に対する評価対象事業者数の割合	【施策の指標】 本市の建設工事入札参加資格業者総数に対する評価対象事業者数の割合	38% (H28年度)	目標 前年度(44%)並み	実績 47 %	達成率 106.8 %	44 %	—	—	—	—	—	—	—	—	
V-3-(1)-1 都市基盤・施設の適正な整備	3	⑨ ⑩ ⑪	公共工事安全対策強化事業	検査課	市が実施する公共工事の安全対策強化のため、安全指導を専門とする公共工事パトロール隊を設置し、事故の抑制を図る。	市発注工事における事故件数	24件 (H26年度)	目標 14 件以下	実績 27 件	達成率 7.1 %	14 件以下 (R2年度)	1,006	905	784	26,150	順調	公共工事パトロール時の安全指導を積極的に行うとともに、出前講演や若手職員を対象とした現場研修を実施し、市発注工事における事故件数が、前年度より改善したため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市発注工事における事故件数が、前年度より改善したため、「順調」と判断。  【課題】 建設工事従事者の不注意や確認不足などを原因とする公衆災害が多く発生しており、工事に従事する一人ひとりの安全意識の向上を図る必要がある。	公共工事における重大事故の発生を抑制し、市民と建設工事従事者の安全と健康を確保するため、引き続き市発注工事関係者への指導や安全教育を実施して、事故の抑制を図る。
VI-3-(3)-2 建設リサイクルの推進	4	⑨ ⑫	【施策評価のみ】建設リサイクルの推進	技術支援課	【施策の内容】 北九州市発注の公共工事を対象に、建設副産物の発生抑制や建設廃棄物の再資源化の徹底、再資源化された建設リサイクル資材の利用促進に取り組む。	【施策の指標】 建設廃棄物の再資源化率	99.9% (H28年度)	目標 98 %	実績 99.3 %	達成率 101.3 %	98% (毎年度)	—	—	—	—	—	—	【評価理由】 前年度に引き続き令和2年度も目標を達成したため、「順調」と判断。	前年度に引き続き、建設廃棄物の再資源化率の目標達成を目指す。	